

第2回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会の意見に対する町の考え方

委員		意見・質疑				町の考え方	
		有無	旧頁	新頁	該当箇所 内容		
1	栗原 昭子	有	13	13	②商業の状況	前回のマスタープランに掲載されている商店数・従業員数・年間売上額に差異があるのは何故か。	商店数及び従業員数について、現行計画では小売業のみでしたが、改定素案では卸売業及び小売業の合計に変更しています。ただし、素案における説明文のなかで「小売業に関する商店数は・・・」となっておりますので、「商業（卸売業・小売業）に関する商店数は・・・」に修正します。
			49	57	都市構造図	P.48歴史・自然拠点、生活文化拠点のどれに該当するのかを番号で表示すれば分かりやすい。	表とリンクするように修正します。
			54	62	①伝統的住宅地	「登録有形文化財建造物制度の活用と啓蒙につとめる」「優遇措置のある・・・」を具体的に記載してはどうか。	都市計画マスタープランについては、都市計画に関する基本的な方針を定めることとしています。「登録有形文化財建造物制度」といった具体的な内容については各種の計画で検討します。ご意見として頂戴します。
			57	65	④法隆寺とJR法隆寺駅をつなぐ道の整備方針	道路標識や観光拠点への案内表示板設置の拡充	斑鳩町観光案内サイン配置計画を作成しており、当計画を基に観光案内サインの整備をすすめています。ご意見として頂戴します。
			59	67	道路ネットワーク図	「旧街道などを示すオレンジの点線」と「法隆寺とJR法隆寺駅を結ぶ道」が重なっており、分かりづらい。	表記の方法を工夫し修正します。
2	菅原 素子	無					
3	武安 真嗣	無					
4	西梶 浩司	有	10	10	下表中	2015（平成17）年 → 2005（平成17）年に訂正	ご指摘のとおり、修正します。
			48	56	生活文化拠点	「ふれあい交流センターいきいきの里」が入っているのであれば、「東老人憩の家・西老人憩の家」も、「福祉、健康づくり」で該当するのではないかと。	ご指摘を踏まえ、追加します。
			57	65	(4) 法隆寺とJR法隆寺駅をつなぐ道の整備方針	計画として、「もてなしの道にふさわしい景観の形成」は、非常に良いと思います。県道部分があるので難しいところもあると思いますが、町と県が連結した連携協定の取組みのなかに、「法隆寺周辺での歴史・観光まちづくりの推進」という項目があるので、積極的に推進していただければと思いますので、意見として申し添えます。	ご意見として頂戴します。
			59	67	道路ネットワーク図	「法隆寺とJR法隆寺駅を結ぶ道、旧街道」をオレンジの点線で表記されていますが、分かりにくいので、色を濃くするなどの検討をお願いします。	表記の方法を工夫し修正します。
			66	74	(3) 水害予防対策 下から2行目	浸水対策基本計画は、策定されているのでしょうか。第4次斑鳩町総合計画では検討するとなっていたと思いますが、策定されているのであれば、どこが策定したかわからないので、斑鳩町と表記した方がよいのではないかと思います。計画策定がされていない場合は文章表現を変える必要があるのではないかと。	ご指摘の踏まえ、「町内河川の改修やしゅんせつをすすめるとともに、町内の浸水常襲地域において内水被害を解消するため、「奈良県平成緊急内水対策事業」を推進し、対策に必要な貯留施設等の整備を行うなど、集中豪雨にともなう浸水対策を計画的にすすめます。」に修正します。
5	松久 喜樹	有	47	55	(1) 多様で魅力ある拠点 ◆主要拠点	主要拠点として、法隆寺周辺地区とJR法隆寺駅周辺地区を定めるのは妥当だと思われます。「都市機能の充実や環境整備をすすめます」の代わりに「魅力ある市街地環境の形成をはかります」の文言を付け加えることで明確になるとは思います。如何でしょうか。	ご意見を踏まえ、「魅力ある市街地環境の形成をはかります」に修正します。
			48	56	◆歴史・自然拠点	前回のマスタープランにも記載されているのですが、歴史が自然かの2者択一の機能だけではない複合的な場所ですから、単純化しすぎると乱暴に見えます。これらの拠点の特徴について、機能だけでなく効果も含めて主要要因を並べた方がよいのではないかと。	分類として「機能、社会的・文化的役割」に修正します。
			49	57	◆都市構造図	緑の丸で示された拠点名の記入をお願いします。	表とリンクするように修正します。
			57	65	(4) 法隆寺とJR法隆寺駅をつなぐ道の整備方針	「もてなしの道」とは「いざないの道」のことでしょうか。単なる装飾語としての使用なら、紛らわしいと思います。	「いざないの道」については、今回の計画から呼称を削除しています。その上で、主要な2つの地区をつなぐ道として、多くの観光客等が通行するため、「もてなし」という表現をしています。
			66	74	6. 都市防災の方針	新型コロナウイルス感染症が極めて深刻な事態ですが、一過性のもではないということが次第に明らかになってきました。コロナ後の町の将来を見据えた項目が必要かと思えます。	ご指摘を踏まえ、都市防災の方針に「(4) 感染症対策」の項目を追加し、「・防災拠点をはじめとする公共施設における「3密」回避にむけた設備・体制の充実」に努めます。」を追加します。
			55	63	(2) 商業・業務地の整備方針	整備方針を裏付けるための、例えば主要な商業集積及び分布の把握等はされているのでしょうか。	商業施設の分布については、平成26年度に都市計画基礎調査を実施しており、分布図を作成しております。
			52	60	(3) 市街地	市街地区域内の低未利用地の状況はどのように把握されていますでしょうか。	低未利用地調査は実施していません。空き地、空き家等の個別の相談による把握のみしているところです。
			全体	全体	図表の出所	(国勢調査)、資料：国勢調査、人口動態統計となっている。	ご指摘を踏まえ、資料：○○○○に統一します。
			7	7	2行目	「～1980年（昭和55年）にかけて大きく増加しました。」⇒何年から1980年にかけてかが分からない。	ご指摘を踏まえ、「1965（昭和40）年から1980（昭和55）年にかけて」に修正します。
			8	8	1行目等	「高齢化率」「年少人口比率」⇒「率・比率」名称の統一をお願いします。	ご指摘を踏まえ、「高齢化率」を「老年人口比率」に修正します。
			12	12	農家数グラフ	農家数の棒グラフ内の数値が切れています。（1桁しか見えていません。）	ご指摘のとおり、修正します。
			12	12	経営耕作地面積グラフ	経営耕作地面積のグラフも上記同様一部切れています。	ご指摘のとおり、修正します。
			12	12		「経営耕作地面積」、グラフ表題は「経営耕作地面積」です。	農林業センサスの統計用語である「経営耕作地面積」に修正します。
			13	13	6行目	「商店数を除き2014（平成26）年には微増しています」⇒売り場面積は微増ですが、従業員数は2割増、年間販売額は8割増であり微増とはいえません。	ご指摘を踏まえ、「微増しています」を「増加しています」に修正します。
			15	15		本文は「年」、グラフは「年度」になっています。	ご指摘を踏まえ、「年」を「年度」に修正します。
			18	18	表中	表の区分でマス空けているものは、内訳（例えば、「第1種低層住居専用地域」は「用途地域」の内訳）と思われるのですが、分かりにくいので色分けで区別してはどうか。	ご意見を踏まえ、区分が分かりやすいように修正します。

委員	意見・質疑					町の考え方
	有無	旧頁	新頁	該当箇所	内容	
6 丸尾 尚史	有	20	20	7行目	「法隆寺線」は、事業区間（680m）の整備が完了しています。」⇒事業区間とは？	都市計画道路「法隆寺線」のうち、町の道路事業として事業をすすめた区間です。
		22	22	表中	普及率、接続率の計算式が不明です。（計算式の記載がありません）	用語説明のなかで計算式を記載するとともに、表の数値だけでは普及率が計算できませんので、総人口の数値を追加します。なお、普及率に用いる人口は住民基本台帳人口を用いています。 普及率=供用人口/総人口、接続率=接続人口/供用人口
		23	45	下から3行目	「今後の定住意向」⇒p29では「今後の居住意向」となっています。	アンケート内容を記載する際は、アンケート項目である「居住意向」を用いており、それ以外は「定住」を記載しています。ご指摘を踏まえ、調査結果の総括の1）8行目の「今後の定住意向」を「今後の居住意向」に修正します。
		23～	23～		アンケート結果の構成が、「調査概要」⇒「結果の総括」⇒「調査結果」の順となっていますが、総括と調査結果は順序を入れ替えた方がいいのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり、順序を入れ替えた方が分かりやすいため、「調査の概要」「調査結果」「調査結果の総括」の順に入れ替えます。
		24	45		1行目～12行目の文章に該当するアンケート結果が見当たりません。基本的には、アンケート結果の客観的な事実があって、その事実に基づいた「結果の総括」が纏められると思うので、アンケート結果の記載がなく総括だけでは不十分ではないのでしょうか。	アンケート結果を追加します。
		24	45		3)斑鳩町の取組みについては～の7行目以降（今後の重要度についての評価結果～）の「地域医療体制」などの項目がP.32の図中から見つけられません。	7行目から12行目にかけては、ポートフォリオ分析以外でのアンケート結果から記載しており、混在している状態になっております。追加する資料との整合性をはかり、文言の調整を行います。なお、7行目から12行目にかけては満足度・重要度を点数化していないため、削除します。
		24	46		4)、5)も同様にアンケート結果が見当たりません。	アンケート結果を追加します。
		27	25		前回資料では地区ごとの人口構成比の記載があったのに、削除したのはなぜでしょうか。	全体構想素案作成時において、第1回都市計画マスタープラン策定委員会資料を統合・調整して作成していますが、その際に誤って別データを搭載していました。第1回資料と同様に記載します。
		28	26	⑧家族の状況	「65歳以上の方の割合」 → 「65歳以上の方が居る世帯の割合」ではないのでしょうか。（介護も同じ）	ご指摘のとおり、修正します。
		28	26	⑧家族の状況	グラフにおいて、「65歳以上の方」と「上記の家族がいない世帯及び無回答」の割合が2つの調査結果で大きく乖離していますが、原因は何でしょうか。せっかく併記するのであれば、結果が大きく異なる箇所は特にコメントが必要なのではないのでしょうか。	平成27年度数値に誤りがありましたので、修正します。平成30年度と大きく乖離はございません。
		30	28		選択肢が多いグラフの項目は、その他、無回答を除き降順（数値の高い順）に並べる方が見やすいと思います。P.31も同じ。	ご指摘を踏まえ、平成30年度をベースに降順で修正します。
		32	32		前回の資料にあった「満足度・重要度の算出方法」や「満足度と重要度の評点」が削除されているため、P.32の表が唐突すぎてわかりにくいと思います。	ご指摘のとおり、ポートフォリオ分析の資料を追加します。
		32	32		「重要度は高いが満足度は低い」施策は、Aの領域と思われませんが、「商工業・観光」と「防犯・消費生活」は図で見る限りCの領域に入っています。重要度と満足度から「優先度」を求めて、その上位5位を記載したものとと思われますが、前述したように削除したため、わかりにくい状況になっています。	ご指摘のとおり、ポートフォリオ分析の資料を追加します。
		33	33		満足度においては、いずれも「やや不満」と「不満」をあわせた「不満」の割合が高くなっています。となていますが、何に対して高いのかわかりません。	ご指摘のとおり、「・・・割合が、「満足」と「やや満足」をあわせた「満足」の割合よりも高くなっています」に修正します。
		34	34		満足度においては、いずれも「やや不満」と「不満」をあわせた「不満」の割合が高くなっています。となていますが、何に対して高いのかわかりません。	ご指摘のとおり、「・・・割合が、「満足」と「やや満足」をあわせた「満足」の割合よりも高くなっています。」に修正します。
		32～	32～		P.32で「特に問題となる「重要度は高いが満足度が低い施策」として5項目挙げていますが、この中で「道路・交通網」と「住宅・生活環境」の2項目だけを取り上げたのはなぜですか。	都市計画を考えるなかで、特に必要な2項目を抜粋していましたが、ご指摘のとおり、整合性をとるため、上位5項目及び都市づくりの課題を整理する上で必要なアンケート結果を追加します。
39	49		都市づくりの課題の表の1の○の2つ目「生活道路の整備や歩道設置など安全対策の推進」の項目に該当する文章がP.38に見当たりません。	ご指摘を踏まえ、P.38の（2）1つ目の○を「幹線道路や生活道路の整備、歩道の確保などの安全対策が求められているとともに、段差の解消などバリアフリーによる歩行環境の整備が求められています。」に修正し、P.39の表中1の2つ目の○を、表中2の1つ目に移行します。		
7 水谷 知生	有	23～	23～	アンケート調査結果の分析	アンケート調査（斑鳩町の暮らしやすさ）は、平成27年と30年の2回を比較した結果を述べている部分が多いですが、前回計画策定時、平成20年12月にはほぼ同じ項目で調査をしているので、概ね10年間の変化として前回計画での調査結果と並べて分析するのが適当ではないのでしょうか。その際、27年の結果と30年の結果を合算して（P.30とP.31の項目が回答方式が違って扱いが難しいが）、今回計画のための調査として、20年の結果と比較するのが良いと思います。	ご指摘を踏まえ、平成20年度の調査結果のうち、比較できる調査項目については追加します。
		23～	23～	アンケート調査結果の分析	アンケート調査（斑鳩町のまりづくり）の結果分析で、P.24の3）では、各種施策についての満足度、重要度の分析がなされ、「地域医療体制」「消防・救急体制」など安全・安心にかかわる項目や「自然環境の保護」など環境にかかわる項目の重要度が高いとされています。一方、P.32の図では、それらの重要度が高いことがはっきり読み取れません。施策群として表記するのかが、施策内容で表記するのかが問題かと思いますが、説明文と図の関係を整理した方がよいと思います。	7行目から12行目にかけては、ポートフォリオ分析以外でのアンケート結果から記載しており、混在している状態になっております。追加する資料との整合性をはかり、文言の調整を行います。なお、7行目から12行目にかけては満足度・重要度を点数化していないため、削除します。
		32～	32～	アンケート結果と「都市づくりの課題」との関係	P.32で施策アンケートから満足度が低く重要度が高い施策群を抽出する方法はよいと思いますが、抽出された施策群（例示として5つあげられています）のそれぞれについて、P.33、P.34にあるような情報を示さないと、具体的にどのような施策への満足度が低いのかの内容がつかめないので示してはどうでしょうか。	ご指摘を踏まえ、上位5項目及び都市づくりの課題を整理する上で必要なアンケート結果を追加します。
		32～	32～	アンケート結果と「都市づくりの課題」との関係	アンケートであがってくる課題が、「都市づくりの課題」の項目で整理されていれば全体の構造がはっきりすると思いますが、アンケート結果を反映しているのかがはっきりわかりません。例えば、（1）で言えば、防災対策で具体的にあげられている耐震性の向上や浸水対策は、アンケート結果でできている項目なのか、「子育て支援」は具体的に何が求められているのか、下水道事業の推進がアンケート結果からできているのかなど。	ご指摘を踏まえ、上位5項目及び都市づくりの課題を整理する上で必要なアンケート結果を追加します。

委員	意見・質疑					町の考え方
	有無	旧頁	新頁	該当箇所	内容	
		32~	32~	都市づくりの方針（全体構想）	前回計画の構造と内容をほぼ踏襲していると思いますが、アンケートで抽出された課題が、今回計画にどう反映されているのかがはっきりしません。①アンケート結果から抽出された課題（「都市づくりの課題」でまとめられるべきものですが）、②それへの対応（特に前回計画から変更した部分）の関係を表などで示していただけると3章以降の内容を検討する上で有効だと思います。（本文に掲載する必要はありません） その上で3章の記載内容が十分であるか、一部不足しているかの検討ができますと思いますので、3章の記載内容への意見は現段階で整理できません。	ご指摘を踏まえた資料を作成します。
		58	66		(7) 2点目 「運行方法の提供」は「運行情報の提供」でしょうか。	ご指摘のとおり、「運行情報の提供」に修正します。
8 宮崎 亮	無					
9 川本 智裕	無					
10 西尾 雅央	有	全体	全体		本文2と6ページを除いて西暦（元号）表記、資料では元号（西暦）表記となっている。整合性がないように思われるが。	ご指摘を踏まえ、元号（西暦）表記に統一します。
		8	8	2行目 年には	年の35年間に訂正する	ご指摘を踏まえ、「・・・から平成27（2015）年までの35年間・・・」に修正します。
		10	10	高齢者のいる世帯に関して	高齢者ひとり暮らし世帯、高齢夫婦のみの世帯が増加傾向にあることを付け加えたい。	ご意見を踏まえ、「・・・全体の49.3%が高齢者のいる世帯となっています。」のあとに「そのうち高齢夫婦のみの世帯が17.0%、高齢者ひとり暮らし世帯が11.0%と増加しています。」を追加します。
		16	16	下から2行目 歴史的風土保存地区	3月の冊子では法隆寺周辺地区特別用途地区と表記されているが。	第1回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会の資料に誤りがありましたので、修正しています。歴史的風土保存区域が正しいです。
		23	45	下から3行目 今後の定住意向について	3月の冊子では2割、現冊子では1割となっている。同じデータを使っているのに違いが出るのはなぜか。	第1回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会の資料では約2割としていましたが、この約2割には「わからない」と回答された方が含まれていたため、「引越す予定がある。」と「引越したい」の合計である「約1割」に修正しています。
		38	48	(3)の項目だて	「法隆寺の周辺は、町を代表する歴史的・文化的遺産が集積している地域であり」という表現が2回出てくる。項目だてを4つにして、①法隆寺駅周辺の都市機能充実に関する事、②法隆寺周辺の景観保全と質的向上に関する事、③両者をつなぐ歩行環境や交通環境整備に関する事、④観光資源の整備とネットワーク化に関する事の4点を掲げる。	ご意見を踏まえ、項目を再検討します。
		39	49	(4)の項目だて	4つ目として「人口減少社会の到来を前提としたコンパクトなまちづくり」の視点を加える。	ご指摘を踏まえ、「人口減少社会の視点」を追加します。
		46	54	将来展望人口	一読したときこのページは浮いているような印象を受けた。なぜ「将来展望人口」なのかという理由づけをした簡単な記述を補足したい。	ご意見を踏まえ、「将来展望人口は、今後の都市づくりの目標の前提となる重要なフレーム（枠組み）です。」を追加します。
		55	63	法隆寺駅周辺の商業施設の計画的立地誘導、幹線道路における消費者ニーズに対応した利便性の高い商業施設の立地誘導について	住民の意向調査から明らかなように「商業施設の整備など利便性の向上」につながる取り組みが重要な課題となっていることは否定できない。しかし、そのような施策を実行していく上で計画的かつ慎重な取組み、住民との対話が不可欠であると考え。大阪にアクセスのよい奈良県下の市町村では購買力の流出がみられる。大阪に比べ価格競争力が働かず商品の付加価値が低いことに起因して大阪で買い物する一定の層がいることが見受けられる。斑鳩も同様の傾向がみられるだけでなく、購買力自体はそれほど高くなく堅実な生活を送る人が多いように思われる。駅前周辺の小さなスーパーや25号線の業務スーパーの撤退、庁舎前のコンビニの撤退などにそのことがうかがえる。10年後に向かって緩やかに人口が減少し、とりわけ消費力の高い生産年齢人口が減少することは致命的である。観光客の需要は季節的であり不安定である。斑鳩の周辺に住む住民の消費を取り込むことに期待するの程度がされている。逆に斑鳩ではなく王寺町や三郷町、平群町などへ出かけて買い物する人が一定程度存在しているかもしれない。商業施設を誘導する手法だけでなく、マーケティング調査、観光客向けのブランド力（斑鳩だけでなく手に入らない商品開発）、住民・青年会議所など関係団体との協働など施策を総合的に展開していただきたい。私としては農産物を主とした地産地消のシステムづくりを願う。	都市計画マスタープランについては、都市計画に関する基本的な方針を定めることとしています。土地利用方針等については、商業施設が立地可能な都市計画をすすめることを考えておりますが、その他にもご指摘のとおり商品開発などのブランド力の向上や関係団体との協働など多面的な施策が必要になります。各種の施策については、上位計画である「総合計画」や各種の事業計画のなかで検討していくものと考えております。ご意見として頂戴します。
		58	66	2行目の旧街道は	この主語に対応する述語がよくわからない。「旧街道の奈良街道（竜田道）のうち、」と表現すればよい。	ご指摘を踏まえ、「かつての宿場町として当時の町並みが残る龍田、商店街としてにぎわいを見せた並松の旧街道沿道に点在している歴史的な資源を生かし、歩いてまちなか観光を楽しむことができるよう沿道を含めた環境整備をすすめます。」に修正します。